

研 究 発 表 要 旨

の場をも含めて、人間の発達・育成助長に関係ある分野が主であって、経済成長に直接に奉仕すると考えられる分野への心理学者の進出率は絶対数の増加に拘らず未だ低い。(4) その他

703 欲求の概念、特にその価値的性格の問題：黒田正典（新潟大学）

戦後心理学のブームは「緊張解消説」的、ヘドニズム的效果をもったかにみえる。諸学説を詳しく見れば、心理学は快楽主義的思想の上にのみ立つものでない。しかしそのような効果は欲求の概念の思想的背景そのものにも一半の責任がないわけではない。よってその再検討を試みたい。特にその「よい」「わるい」、広くは「価値的」「反価値的」性格について問題が存する。臨床心理学者がクライアントに接するとき、あるいは心理学者が社会事象の評論をするときは、心理学的操作をもってのみならず、思想をもって接せざるをえない。欲求・欲望等の思想が問題にならざるをえない。ニーチェ心理学や成層理論などを参照しつつ、第三の性格づけを試みたい。

704 教育心理学の実践的研究法：相馬勇（宮城県吉田小学校）

教育現実の、心理学的な局面に関して、もし我々が科学的方法によって観察し、実証し、実践的展開をしようとする場合、必ずといってよいほど、学問の無力さを感じる。教育的現実の、ある限られた極く狭い部分について、既に解明された心理学的法則により処理できる場合は別であるが、多くの教育の場は、科学で解けなかった多くの要素を含んだ全体として、我々の前に在るのである。

この教育の場において全体的な現象を、合理的に分析し説明し、次の展開への科学的基礎を与えるには、現在の教育心理学の研究法を深く反省しなければならない。その一つの試みとして、ここに、実践の立場から、教育心理学の実践的研究法を考えてみようとする。

705 教育心理学における方法の問題：千葉胤成（日本大学）

教育の実践に参与する心理学的事象を認識し解明するのみならずそこに生起する課題を解決しかつ適切な効果をもたらすための心理学的知見と技術について研究するのが教育心理学の任務である。それ故に研究に際してはそれに即応した研究法が配慮されなければならない。しかるにその方法は多くは一般心理学の方法が適用されるがそれら方法実施の心構えおよび結果の意味に独特のものがあつたまた教育者と被教育者との生々流動する相互交渉という教育事象の特質上それら仕方の指導的役目をなしかつこれら仕方の基礎的意味をもつ方法論的特殊の立場が考慮されなければならない。しかもそれは単なる恣意的主観性と解さるべきでなく必然的客観性をもつ。

4. 精 神 薄 弱

307 精神薄弱児における学習能の構造と学習の条件：西崎清（岡山県立由加学園）

精神薄弱児は測定知能値が低いので学習能力が弱いとされていたが、学習内容によっては必ずしも弱いと言いきれないものがある。例えば、運動・感覚学習においては優れた能力を示すものがある。ここに彼等の学習能力の構造と学習の条件に正常児と異なるものがあることが予想される。これらの特性は①知能の中に含まれる情意的なものの影響、②心理発達が年令的に質的に独自の段階で経過する、③学習能が正常に機能化するのは12才ごろからである、④正常な機能化に必要な条件は言語的発達と情意的発達である、⑤病原学的な特殊の型のは正常化が困難である、⑥心理的発達の個人差は複雑で巾が広い、⑦個人差は環境と指導法の影響を受けることが大きい。